

三条市安全・安心なまちづくり推進計画の進捗状況等について

- 1 取組の実施状況について (P1～5)
- 2 数値目標の達成状況について (P6～9)
- 3 平成28年における取組の基本的な考え方について (P10)
- 4 平成28年の重点的取組事項について (P11)

1 取組の実施状況について(1/5)

I 意識づくり

市民一人一人の防犯意識を高めるため、広報啓発活動等の事業を実施する。

事業No.	事業名	事業内容	実施状況	特記事項
1 広報啓発活動	I-1-①	自転車鍵かけ運動		2回 警察、防犯ボランティア、高校生と合同で実施
	I-1-②	スーパーにおける街頭啓発活動		4回 スーパー、金融機関で実施
	I-1-③	広報、ホームページへの掲載		市HP 6回 広報さんじょう 12回 FMラジオ広報 1回
2 情報発信	I-2-①	三条市メールの配信		特殊詐欺関連 6回 消費者トラブル情報 4回 不審者情報 10回
	I-2-②	情報共有化の仕組みの構築、活用		新潟県後期高齢者医療連合との連携を図り、いち早く詐欺の前兆事案等に関する情報を把握し、警察、事業者団体等のネットワークにより、情報共有を図っている。
	I-2-③	事業者への情報提供、意識啓発		商工会議所を通じ、事業所防犯講習会に関する情報など、各種情報提供を実施
	I-2-④	防災無線を活用した犯罪被害防止緊急放送		緊急性を有する事案がなかった。

1 取組の実施状況について (2/5)

事業No.	事業名	事業内容	実施状況	特記事項	
3 教室・教育の充実	I-3-①	薬物乱用防止教室等の特別授業	警察や保健所等の職員による薬物乱用防止等の特別授業を実施する。	○	薬物乱用防止教室を全中学校で開催
	I-3-②	関係機関と連携した児童・生徒への指導	警察等と連携して、飲酒、喫煙、いじめ、万引き等に関する指導を行う。	○	ネットトラブル防止のための予防教室を全中学校で実施
	I-3-③	高齢者教室と連携した防犯講話	高齢者教室とタイアップして、特殊詐欺等被害防止に関する講話を行う。	○	高齢者交通安全教室の機会を捉え、特殊詐欺被害防止についての講話を実施

II 地域づくり

犯罪の芽を摘む最も身近な監視役である地域の自主活動の促進等を図る。

事業No.	事業名	事業内容	実施状況	特記事項	
1 自主活動の促進	II-1-①	防犯パトロールグッズの斡旋	地域の主体的な活動を支援するため、防犯パトロール用品の購入費用の補助を行う。	○	全自治会に対し事業周知5団体、ベスト31着、誘導棒20本
	II-1-②	防犯協会負担金	三条市防犯協会への財政支援	○	三条市の人口×10円を財政支援
	II-1-③	自主防犯活動の活性化と防犯協会への加入促進	地域の自主防犯活動の活性化と防犯協会への加入を促進するため、自治会総会などの場において情報提供を行う。	○	下田地区自治会長協議会が新たに加入 25団体→26団体

1 取組の実施状況について (3/5)

事業No.	事業名	事業内容	実施状況	特記事項	
II-1-④	防犯カメラの設置・運用に関する相談及び情報提供	防犯カメラの設置・運用に関する商店街、自治会等の相談に対し、活用できる補助事業等の情報提供を行う。	○	相談等はなかったが、市内における防犯カメラ等の設置状況の把握に努めるとともに、県の運用指針、他市町村の取組などについて、研究、情報収集を行うなど、市として、相談等に対応できる体制を準備している。	
2 防犯力の向上	II-2-①	登下校時の見守りパトロール	地域が主体となり、学校等とも連携した中で登下校時の見守りパトロールを行う。(月2回以上、1回5人以上)	△	18/21小学校区で実施 詳細については、P9参照
	II-2-②	子ども110番の家	犯罪から子どもを守るため、事業所、民家を子ども110番の家として指定する。	○	市内904箇所
	II-2-③	地域安全マップづくり講習会	講習会を通じた子ども自身の防犯意識の高揚や作成したマップを活用した地域防犯力の向上を目指す。	○	11の防犯団体が実施 ※市としては、昨年度、全県規模の講習会を実施
3 高齢者・子どもの安全確保	II-3-①	高齢者家庭訪問	高齢者家庭訪問を行い、特殊詐欺等の被害防止を呼び掛ける。	○	交番又は駐在所の警察官、市交通指導員が実施
	II-3-②	高齢者への情報提供	高齢者の相談窓口である地域包括支援センター等において、防犯チラシを配布するなど、高齢者の防犯意識の啓発を図る。	○	地域包括支援センターが地域住民を交えた地域ケア会議の場で、消費者被害防止をテーマにした会議を2回開催した。また、高齢者からの相談等にも適宜応じている。

1 取組の実施状況について (4/5)

事業No.	事業名	事業内容	実施状況	特記事項
3 高齢者・子どもの安全確保	II-3-③	地域見守りサービス事業(「元氣らかね」声かけ活動)の拡大	○	36地区、182名の訪問員による声かけ活動を実施
	II-3-④	不審者情報の共有化	○	メール配信内容(再掲) ・特殊詐欺関連 6回 ・不審者情報 10回

III 環境づくり

ハード、ソフトの両面から、犯罪が起こりにくいまちづくりのための環境整備を進め、安全確保を図る。

事業No.	事業名	事業内容	実施状況	特記事項
1 学校・通学路・駅等における安全確保	III-1-①	青少年指導委員によるパトロール	○	青色回転等積載車及び徒歩によるパトロール 実施回数:437回
	III-1-②	敷地内パトロール	○	夜間の街頭巡回指導を実施(グラウンド、プール等) 実施回数:199回
	III-1-③	市職員による青色回転灯パトロール	○	パトロール実施者証所有者26人、パトロール可能車両11台

1 取組の実施状況について (5/5)

事業No.	事業名	事業内容	実施状況	特記事項
2 道路・公園等における安全確保	III-2-①	防犯灯、街灯の整備	市道における一定の照度を確保するため、防犯灯、街灯の整備を行う。	○ 防犯灯整備 105灯 (地域からの要望箇所や通学路など)
	III-2-②	公園の整備	市で管理する公園について、街灯の整備や雑草の除去等により死角を作らないなど、防犯上必要な管理を行う。	○ 管理の行き届いていない状態は、犯罪等の温床となることから公園内の除草作業等の整備を実施
	III-2-③	自動車駐車場及び自転車駐車場の管理	市で管理する自動車駐車場及び自転車駐車場において、定期的に照明設備の点検や長期駐車自転車等の確認を行う。	○ 長期駐車自転車の整理ほか、照明の修繕(1件)を実施
	III-2-④	空き家等の適正管理	条例に基づき、所有者等に対し適正な措置を講ずるよう助言、指導を行う。	○ 空き家の把握件数 95件 指導件数 58件
3 住宅の防犯性向上と相談体制の整備	III-3-①	住宅等の防犯対策チラシの設置	住宅等の防犯対策チラシを窓口に設置する。	○ 環境課窓口においてチラシ、ステッカー等を配置及び配布
	III-3-②	市民なんでも相談	日常の心配ごとや悩みごとに関する相談を始め、悪質商法や特殊詐欺などの相談、情報提供を行う。	○ 市民相談:430件 (近隣トラブルなど) 消費生活相談:139件 (詐欺、悪質商法など)
	III-3-③	相談体制の整備	警察署に設置されている相談室との連携を図り、相談内容別の専門相談機関を紹介する。	○ 警察の相談室など、内容により、適宜適切に相談窓口を紹介している。

2 数値目標の達成状況について (1) 刑法犯認知件数

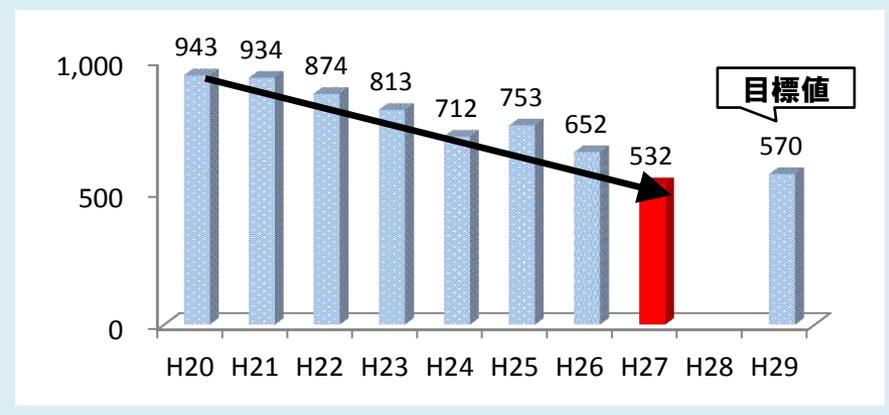
(1) 刑法犯認知件数

平成24年を基準年、平成29年を目標年として刑法犯認知件数を712件から570件に減少(142件、減少率20%)させる。

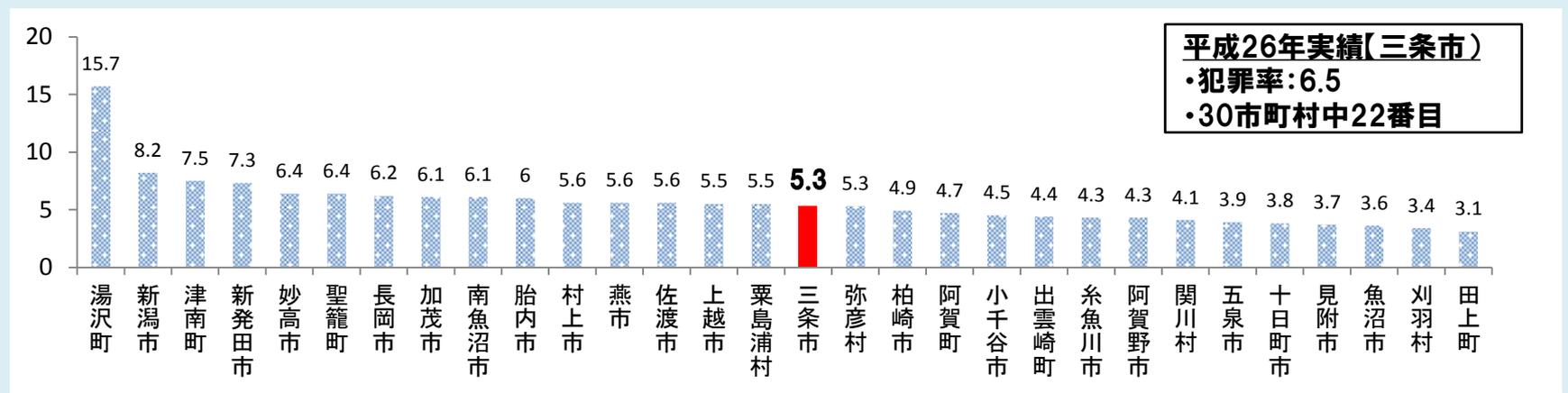


年	H23	H24	H25	H26	H27
件数	813	712	753	652	532
達成率	—	基準年	-28.9%	42.3%	126.8%
対前年度比	▼7.0%	▼12.4%	△5.8%	▼13.4%	▼18.4%
	▼61件	▼101件	△41件	▼101件	▼120件

○三条署管内における刑法犯認知件数の推移



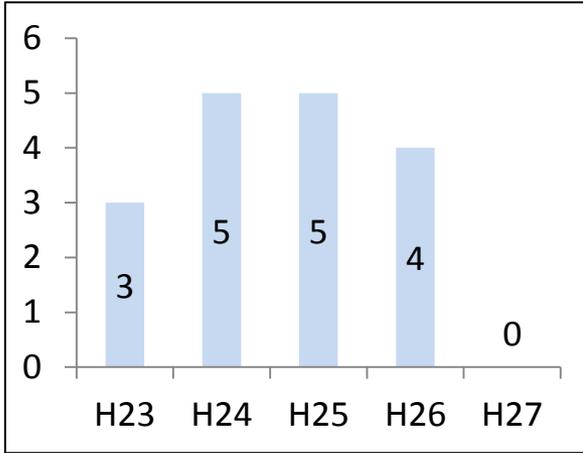
○参考:新潟県内の市町村別犯罪率(犯罪率:人口1,000人当たりの犯罪件数)



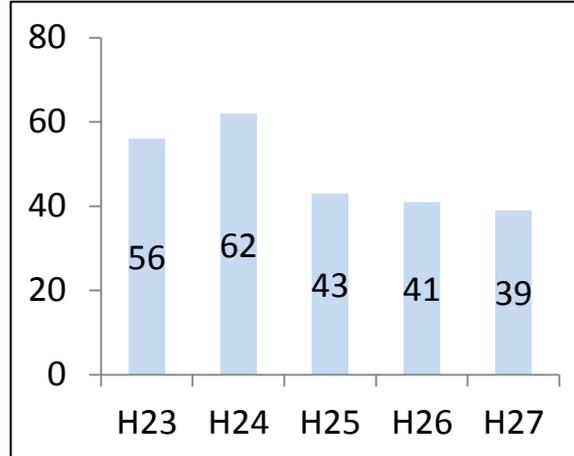
計画期間を2年残した現時点で刑法犯認知件数の数値目標を達成。市町村別の犯罪率については、低い方から数えて15番目となった。次ページでは、罪種別発生状況から、三条市において対処すべき特徴的な傾向がないか分析する。

罪種別発生状況(三条警察署管内)

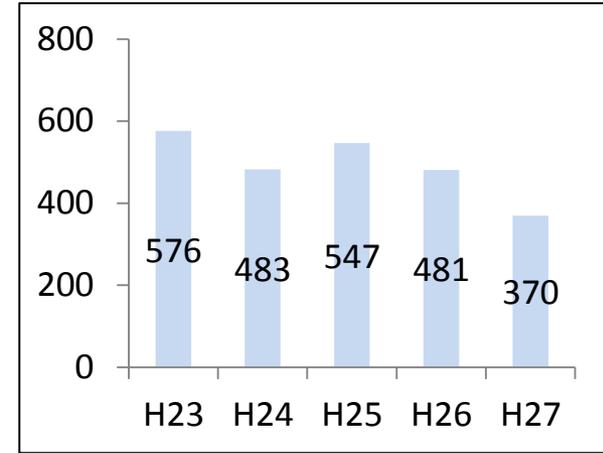
①凶悪犯



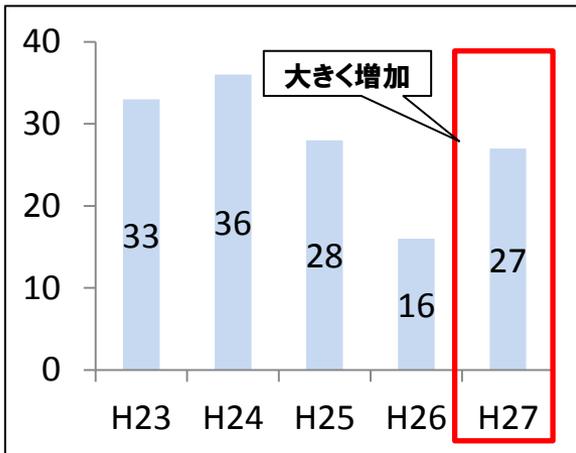
②粗暴犯



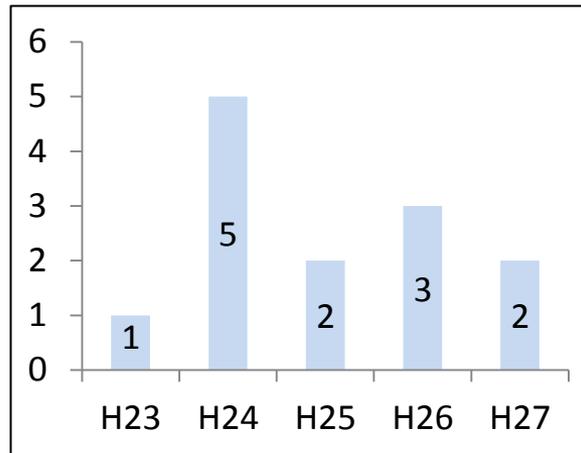
③窃盗犯



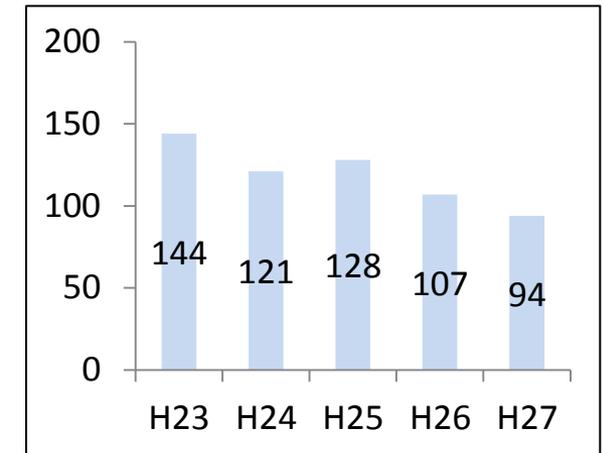
④知能犯



⑤風俗犯



⑥その他

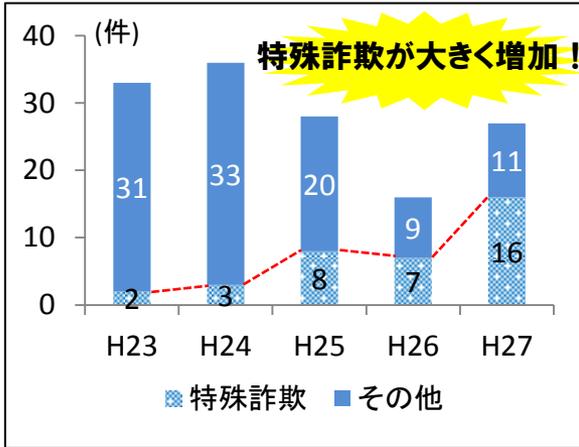


【罪種別発生状況から見た現状と課題】

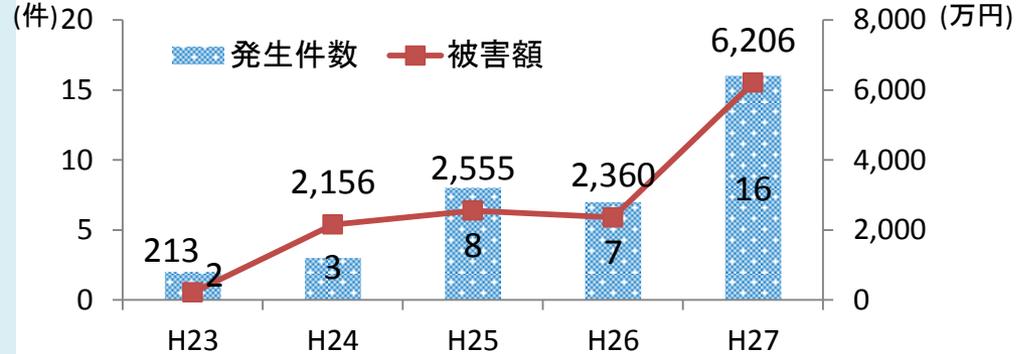
➡ ①凶悪犯、②粗暴犯、③窃盗犯、⑤風俗犯については、減少傾向にあるものの、④知能犯については、平成27年に発生件数が大きく増加したことから、その原因を分析し、対策を講じていくことが必要。

知能犯増加の原因分析

知能犯の発生状況の推移



○三条署管内における特殊詐欺発生状況の推移



新潟県内の被害総額
7億7,088万円
 (1日当たり約211万円)
 三条市内の被害総額
6千206万円
 (前年比2倍以上)

詐欺被害の事例

○家族を騙る
 オレオレ詐欺

息子の名前を騙り「不倫をして子供ができて、感謝料が必要になった。」と持ちかけ、お金を騙し取る手口。

区分 (被害額単位:万円)

新潟県

三条市

平成27年

前年比

平成27年

前年比

件数

被害額

件数

被害額

件数

被害額

件数

被害額

振り込め詐欺

振り込め詐欺以外

オレオレ

架空請求

融資保証金

還付金等

金融商品等

ギャンブル必勝情報

異性交際あっせん

その他

特殊詐欺計

120

29,983

+31

+7,579

9

2,650

+8

+2,600

123

30,934

+78

+18,070

5

2,207

+4

+1,597

6

909

±0

+79

1

127

+1

+127

13

1,000

-22

-1,994

0

0

-2

-100

13

7,906

-17

-14,897

0

0

±0

±0

6

2,406

-1

+700

1

1,222

+1

+1,222

1

205

+1

+205

0

0

±0

±0

6

3,745

-4

-3,262

0

0

-3

-1,600

288

77,088

+66

+6,480

16

6,206

+9

+3,846

知能犯の増加については、特殊詐欺が大きく増加(7件→16件)したことが影響している。特殊詐欺については、近年増加傾向で、特に昨年は前年比2倍以上の被害が発生したことから、対策が急務といえる。

2 数値目標の達成状況について (2) 防犯団体が活動している小学校区の割合

(2) 防犯団体が活動している小学校区の割合 (小学校区のカバー率)

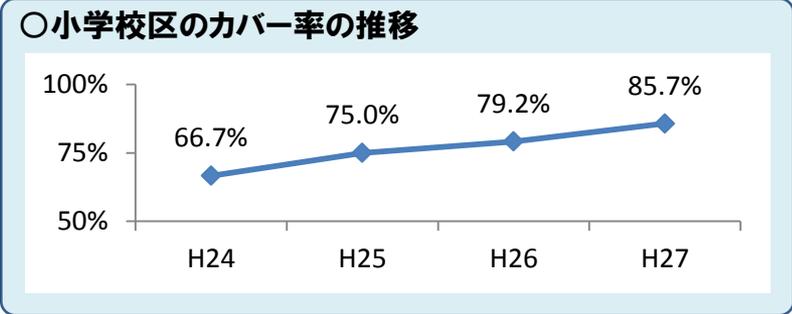
定義:概ね小学校区をカバーする形で、月2回以上(活動頻度)、1回5人以上(活動規模)の活動であること。

平成24年
66.7%
(16校/24校)

➡

平成29年
100%

【実績】平成27年
85.7%
(18校/21校)



小学校区	三条小学校区	一ノ木戸小学校区	嵐南小学校区	裏館小学校区	上林小学校区	井栗小学校区	旭小学校区	西鱈田小学校区	月岡小学校区	大崎小学校区	保内小学校区	大島小学校区	須頃小学校区	栄中央小学校区	栄北小学校区	大面小学校区	長沢小学校区	笹岡小学校区	大浦小学校区	森町小学校区	飯田小学校区
定義(小学校区のカバー)		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎
防犯広報	○		○	○	○	○	○		○		○		○	○	○		○	○			
防犯パトロール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
危険箇所点検	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
防犯教室・講習会		○	○	○		○				○			○	○	○				○		
防犯指導・診断	○		○							○									○		
地域安全マップ作製			○		○				○						○	○	○	○		○	

【小学校区別の防犯団体活動状況から見た現状と課題】

学校の統廃合により、21となった現在の小学校区において、18の小学校区が数値目標の定義を達成している。三条、大島、森町の3小学校区については、活動は実施されているものの、数値目標の定義を達成するためには、活動規模、活動頻度の面から更なる活動の促進が必要。

3 平成28年における取組の基本的な考え方について

【平成27年の成果及び課題】

《成果》

数値目標について、刑法犯認知件数は達成し、防犯団体が活動している小学校区の割合についても目標値に近づくなど、前進が見られた。

また、庁内の連絡調整会議を開催し、庁内横断的に、より効果的、着実に安全、安心なまちづくりを推進していくための下地を作ることができた。

《課題》

- 数値目標（防犯団体が活動している小学校区の割合）の達成に向け、地域防犯活動の更なる活性化を図ること。
- 大きく増加した特殊詐欺の被害防止が急務であり、被害防止の取組を実施すること。



【平成28年における取組の基本的な考え方】

- 1 数値目標の1つ目、刑法犯認知件数については、引き続き、各種取組を継続して実施することにより、更なる削減に努めていく。
- 2 刑法犯認知件数全体で見れば目標値をクリアできたものの、個別に見れば、特殊詐欺の被害が大きく増加しているため、特殊詐欺の被害防止に重点的に取り組む。
- 3 数値目標の2つ目、防犯団体が活動している小学校区の割合については、目標達成に向けて、地域防犯活動の更なる活性化に取り組む。

4 平成28年の重点的取組事項について

重点的取組事項①

◎特殊詐欺の被害防止

前年比2倍以上に増加した特殊詐欺について、警察を始め関係団体と連携した中で、ソフト、ハードの両面から対策を講じ、被害の防止を図る。

ソフト面の対策

- 出前講座、街頭啓発活動等による高齢者への呼びかけ
- 高齢者家庭訪問や声かけ活動等による注意喚起
- 金融機関を対象とした振り込め詐欺防止訓練

ハード面の対策

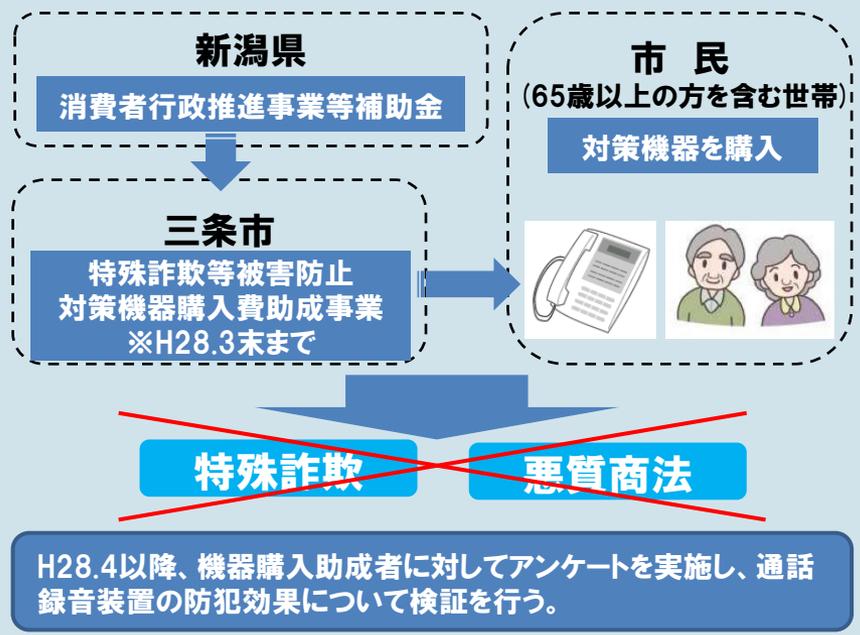
○通話録音装置普及促進事業

【事業概要】

新潟県消費者行政推進事業等補助金を活用し、特殊詐欺又は悪質商法による高齢者の被害を防止するため、通話録音機能を有する電話機器又は通話録音装置の購入に対し購入費の一部を助成するもの(助成はH28.3末まで)。

取組イメージ

○通話録音装置普及促進事業



重点的取組事項②

◎地域防犯活動の更なる活性化

地域の防犯力の向上及び数値目標に掲げる小学校区のカバー率の達成のため、地域における自主防犯活動の活性化を図る。

主な取組

- 防犯パトロールグッズの斡旋等による活動支援
- 地域防犯活動を担う人材の育成
- 講習会の開催又は県主催の各種防犯事業等への参加等

取組イメージ



防犯パトロールグッズの斡旋



防犯リーダー養成講座